

新型コロナウイルス感染拡大防止対策（本大会ガイドライン）

鳥取県中体連ソフトテニス専門部

大会主催者は、以下に示す点について協力を得られない監督・選手・保護者に対し、他の参加者の安全を確保する観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めることがあり得ますのであらかじめ周知いたします。以下ご確認ください。

<基本姿勢>

本大会は、「中国中学校選手権大会」「全国中学校大会」の予選を兼ねているため、「鳥取県中体連ガイドライン」「日本ソフトテニス連盟ガイドライン」を遵守した形で、可能な限り実施いたします。

<参加の枠組み>

- ①監督は、発熱や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いだるさや倦怠感および味覚嗅覚を感じない選手等の参加を取りやめること。また、それらが発覚した時点でも同様とし速やかに対応する。
- ②監督は、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある選手等の参加を取りやめること。
- ③監督は、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された選手の参加を取りやめること。
- ④監督は、大会参加者に感染が判明した場合、大会主催者により参加者名簿が関係機関に公表されることを了承のこと。
- ⑤監督は、大会当日までの14日間の選手や保護者の健康状態を把握し、以下の様式によって管理する。様式の提出のあった者のみ参加を認める。

(1) 中体連様式1 「参加同意書」 ※選手・保護者→監督→大会受付にて提出

(2) 中体連様式2 「体調管理表(選手)」 ※選手→監督→学校保管

「体調管理表(監督・コーチ)」 ※監督・コーチ→学校保管

「体調管理表(観戦者)兼入場許可証」

※監督が様式3を受けてナンバリング→保護者→大会受付にて提出

「体調管理表(役員)」 ※役員→大会受付にて提出

「体調管理表(報道関係)兼入場許可証」 ※報道関係者→大会受付にて提出

中体連様式3 「観戦申込書」 ※保護者→監督→学校保管

中体連様式4 「大会観戦事前申請書」 ※監督→6月30日17時までに以下にデータを送信

(岸本中学校内 岡慎也 宛)

中体連様式5 「当日受付票」 ※報道関係者→大会受付にて提出

- ⑥学校の生徒や教職員に感染者が発生した場合は、その学校は臨時休校となることから、その間は生徒・教職員は大会に参加することはできないことを原則とする。ただし、専門家と協議した結果参加できる場合がある。

<運営の枠組み>

- ⑦大会主催者は、すべての観戦者の入場を1か所に制限し、受付時に行動を指導・管理する。観戦者の検温及び入場証とマスクの着用を義務付ける。なお、観戦者は、選手1人につき1名とする。発熱の場合は入場できない。
- ⑧大会主催者は、大会当日、使用施設に「感染拡大防止措置の確認書」を提出する。
- ⑨大会主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会当日に提出を求めた様式を、少なくとも1か月以上保存しておく。
- ⑩大会主催者は、開会式・閉会式・表彰式を行わない。また、監督会議は密を避けた形で行う。
- ⑪大会主催者は、参加者にマスクを持参させる。マッチを行う選手以外の者は、極力マスクを着用し、咳エチケットと試合ごとの消毒と手洗いの励行に努める。また、会場内での唾、痰を吐く行為を禁ずる。
- ⑫大会主催者は、コート外で密集しないよう可能な限り選手同士1m以上の間隔を取るよう努める。
- ⑬大会主催者は、対戦においてフェンス内に入場できる選手・監督（または外部コーチ）のソーシャルディスタンスを1m以上の間隔を保つよう努める。
- ⑭大会主催者は、試合開始前の挨拶、トス及び試合後の挨拶において、サービスライン上で実施する。また、試合後の選手間での握手は禁止する。
- ⑮大会主催者は、トイレドアノブ、フェンス、審判の使用する筆記用具、ボード等の消毒を細目に行う。
- ⑯大会主催者は、会場に配備しているゴミ箱について大会期間中は使用を禁止し、ペットボトルや弁当等のゴミは各自持ち帰らせる。
- ⑰大会主催者は、大会主催者（主管団体）は、「ソフトテニス大会等の開催に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本連盟通知 2020.6.2）に沿って大会を運営する。

<行動の枠組み>

- ⑱監督は、試合中の選手同士のハイタッチ、握手及び近距離での声掛けは行わないよう努めさせること。（エアタッチやラケットタッチ、サムアップは可）
- ⑲監督は、選手にマスクを持参させる。マッチを行う選手以外の者は、極力マスクを着用し、咳エチケットと試合ごとのこまめな手洗いの励行をさせる。また、会場内での唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ⑳監督は、選手に消毒液等を極力持参させ、チームでの自主的な感染予防対策を図ること。
- ㉑監督は、用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなどの）のシェアをさせないこと。また、マイボトルを用意させ選手及びチーム内でのコップの共有等行わないこと。特に、審判時の筆記用具を持参させること。
- ㉒監督は、飲食時について、周囲の選手となるべく距離をとって対面を避け会話を控えさせること。
- ㉓監督は、試合待機時の選手に、近距離での会話を控えさせる。チーム等への大きな声を出しての応援は控えさせること。
- ㉔監督は、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように指導すること。
- ㉕監督は、チーム内などにおいて、感染者が発生した場合は、チームを活動停止するとともに、関係諸機関と連携して対応すること。また、すみやかに大会主催者に連絡すること。